

第6次総合計画 基本構想「めざすまちの姿」検討シート（①教育・子ども・人権）

（1）市民ワークショップ「タカラ ミライ ラボ」提言書

めざす まちの姿	あそびがそだつ こどもがつくる
実現した ことを確認 する方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あそびの場や子育て環境が充実している。</li> <li>・ 日常的にこども同士や世代を超えた交流ができる。</li> <li>・ 次世代を担うこどもたちが、地域や学校の活動の中で、地域、社会への関わり方を学び、まちづくりに参加している。</li> </ul>

（2）主な社会経済動向

**人口減少と少子高齢化**

- ・ 生産年齢人口（15～64歳）と子どもの数の減少
- ・ 高齢者の単独世帯の増加

**価値観やライフスタイルの変化**

- ・ 働き方改革などによるワーク・ライフ・バランスへの意識の高まり
- ・ シニア世代の自己実現や社会貢献への意識の高まり
- ・ 性的マイノリティ（LGBT）や増加する在日外国人との共生に対する社会の意識の高まり
- ・ 共働き世帯の増加（保育所ニーズの増加と幼稚園ニーズの減少）

**地域社会のつながり**

- ・ 核家族化
- ・ 非婚化
- ・ 人と人との関係が希薄化、孤立する人が増加
- ・ 災害時の支援活動や防犯活動、子育て支援、環境美化など、住民同士が支え合う地域社会の姿が求められている

（3）主な宝塚市の現状認識や特性

**人口減少と少子高齢化**

- ・ 人口が減少期に突入（生産年齢人口が減少）
- ・ 10歳未満と30歳代で特に転入超過
- ・ 20歳代で特に転出超過
- ・ 少子化の進行（0～14歳人口の減少）が大きい

**世帯**

- ・ 核家族世帯は増加傾向
- ・ 高齢者の単独世帯、高齢夫婦世帯は増加傾向
- ・ 各年代とも未婚率は増加傾向
- ・ 共働き世帯は増加傾向

**児童福祉・青少年育成**

- ・ 待機児童の数が多
- ・ 市民アンケートの「地域による子どもの育成」が取り組まれていると回答した人の割合は低下
- ・ 地域や関係団体、市の連携による子育て支援や子どもの居場所づくりが必要

**学校教育**

- ・ 不登校の出現率は微増、いじめ認知件数は増加傾向
- ・ 市民アンケートの地域での青少年健全育成に関する活動（子どもの見守り等）への参加状況は増加傾向
- ・ 学校・家庭・地域の連携強化が必要
- ・ ふるさと宝塚に愛着を持ち、大切に思う心を育むことが重要

**社会教育**

- ・ 市民アンケートの学習活動（学校教育以外のもの）への参加状況は2割程度で推移
- ・ 生涯学習を充実させ、学びの成果を地域への還元につなげていくことが重要

**スポーツ**

- ・ スポーツ系施設の利用は増加傾向
- ・ スポーツライフへの支援により、健康・体力づくり、市民相互の交流を推進することが必要

**人権・同和、男女共同参画**

- ・ たからづか DV 相談室における DV 相談件数は増加傾向
- ・ すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指すことが必要
- ・ すべての人が性別にとらわれず、自分らしくいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指すことが必要

（4）めざすまちの状態

- （児童福祉・青少年育成） ・
- （学校教育） ・
- （社会教育） ・
- （スポーツ） ・
- （人権・同和、男女共同参画） ・